

計画策定にあたって

下野市は、温暖な気候と鬼怒川、田川、姿川の豊かな水の恵みを受けた自然豊かなまちです。この恵まれた自然に育まれた数多くの歴史文化遺産をはじめ、平地林や水辺がつくる美しい田園環境が大切に受け継がれてきました。

近年は、JR宇都宮線の3駅や主要幹線道路網からなる抜群な交通利便性、地域医療の充実、地元産の農産物を用いた食文化を活かし、まちの将来像である「ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市」の実現に向けて、まちづくりに取り組んでいます。

一方で、急速に進行する人口減少や少子高齢社会など、大きな社会変動が起こるなかで、地域の歴史を伝える風情ある建造物が年々減少し、祭礼等の地域行事の後継者が減少してしまう等の課題が浮き彫りとなっています。歴史上価値の高い建造物やその周辺のまちなみと、地域における人々の歴史や伝統に根差した営みや生活が一体となって形成してきた歴史的風致が失われつつあることも現実です。

そのため本市では、歴史的風致を維持・向上させ、未来へと継承する「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき、「薬師寺地域にみる歴史的風致」、「国分寺地域にみる歴史的風致」、「天王様にみる歴史的風致」、「太々神楽にみる歴史的風致」「干瓢生産にみる歴史的風致」「ワラデッポウにみる歴史的風致」の6つを柱に、「下野市歴史的風致維持向上計画」を策定しました。

今後は本計画に沿ってさまざまな事業を推進しながら、先人が守り、引き継いできた歴史的かつ文化的な資源を維持向上させ、さらに積極的に活用し、地域に対する市民の誇りと愛着の醸成に努め、活力あるまちづくりを進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご指導、ご助言をいただいた「下野市歴史的風致維持向上計画策定検討委員会」の皆さまをはじめ、貴重なご意見や資料の提供へご協力いただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。

平成31年3月

下野市長

広瀬 寿雄

